

今年を振り返って 例会出席者、出品数 昨年以上の実績、皆さん元気です

会長 合原一夫

今年も早や師走を迎えました。街ではXマスの大売出しや光のイルミネーションなど、賑やかな年末を迎えています。この一年を振り返ってみますと、わが大阪ムービーサークルは皆さんのご協力とご努力の賜物で、何とか無事この一年間の活動を終えて、新しい年を迎えようとしています。

記録を調べてみますと、まだ12月の実績が判りませんので、正確には次号でお知らせしますが、会員数36名で変わらず、例会出席者23.1人/月(前年は22.3)、出品本数13.6本/月(前年13.1)と、前年より少しではありますが増えております。出品数が多過ぎて翌月回しとなった月も何回かありました。このことは会員諸氏が元気で作品づくりに取り組み、例会を楽しみにしておられる証しだと敬意を表します。望むらくは全国コンテストに挑戦される方が少ないということは残念です。来年はぜひ全国コンに挑戦される方が一人でも多く出ることを祈念しております。

今年のOMCフェスティバルに際し、「ビデオ何でも相談」のイベントを開催しましたが、やゝ空振りに終わった感があり、企画を推進された進藤副会長ほかの皆さんには大変ご苦勞でしたが、ビデオ好き人間を発掘し、会員増加を図るべき、新たな企画は必要と思います。又、最近入会された会員諸氏を中心に、勉強会を復活させたいと新年度の企画に盛り込みたいとと考えています。それにしてもビデオを取り巻く機材等の変化は目まぐるしく、私などとても追いついていけないのが現状です。しかし最終的には「どれだけよい作品をつくるか」ですから、ボチボチ着実に前向きに向き合っていこうと思っています。皆さん、どうぞ良いお年を。

12月例会・幹事会・世話役会のお知らせ

12月例会は第4土曜27日13時より幹事会、15時より世話役会
そして18時より例会を行います。場所はいずれも難波市民学習センター第4研修室。来年度会費8千円を会計にお納め下さい。

OMCフェスティバル まずまずの盛会

去る11月16日(日曜)に開催されたOMCフェスティバルは、およそ200名弱の入場者があり、まずまずの盛会でした。

午前中に行われた「ビデオ何でも相談」会には、相談者が少なくいささか期待はずれでしたが、プログラムに同封した呼びかけのチラシだけの広報活動でしたので、対象が適切でなかったのかも知れません。インターネットあたりの活用等一考を要する課題でしょう。

映写会の方は会場のスピーカーが片方しか生きていなくて音響効果の点でマイナスとなりました。上映の方は黒田先生の明るいプロジェクターと江村、進藤、関の各氏の適切な上映技術、それに進行表通りの細井靖子さんの手馴れた司会、そして照明係や案内係、受付け等、全員参加で無事発表会を終えることができました。ご協力頂いた各位に感謝いたします。作品の内容についても観客の評価は高かったものと確信しております。来年も又、良い作品を集めて、関西一の質の高い映写会を実施させましょう。

■祝電を頂戴した方々

- ・東京映像会長 古城和明様
- ・銚子映像クラブ会長 石毛文男様
- ・寝屋川市映像協会会長 竹田幸男様
- ・京都アマ連盟会長 中嶋 哲様
- ・映像神奈川名誉会長 金子喜代子様
顧問 金子豊一様
- ・映像北大阪会長 堀 皓二様
- ・ビデオサークル紀南会長 森 裕治様
- ・和歌山8ミリビデオサークル会長
鋤崎道弘様

以上、9通有難うございました。

■予告：1月例会は、第4日曜日25日午後1時より開催、総会終了後に総会を行います。終了後、5階のレストランで新年会を開きますので、同封のハガキに出欠を記入して1月10日頃までに会長宛投函して下さい。会費は5,000円です。

■来年度年会費納入のお願い

12月例会で8千円を会計に納めて下さい

■幹事会のお知らせ：12月例会日の13時より第4研修室にて開催しますので、幹事

の方はお集まり下さい。年度賞選考の件その他。

■世話役会のお知らせ：同上に引続き15時より同じ会場にて開催します。来年度の役割分担、一泊撮影会、会計報告その他。

■会員名簿の追加

- ・鉄具嘉夫さん メールアド追加
E-mail tetsugu@roy.hi-ho.ne.jp
- ・錦 務さん メールアド追加
E-mail nishikipc@gmail.com

11月例会のレポート

今年の秋は夜と昼の寒暖の差が大きかったこともあってか、各地とも、紅葉が殊の外きれいだったとテレビで放映していました。京都の紅葉狩りでは外国人観光客も大幅に増えて、どこも人・人・人と賑わったとか。わが家のまわりの街路樹のいちよりの黄色い葉っぱがきれいでした。

11月例会は、いつもより3～4人少ない21名の参加者でしたが、もみじ狩りやハイキング等へ行かれたのでしょうか。作品も少な目の11本に留まりましたので、ゆったり目の司会で進行できました。おかげで1作品ごとに司会者のみの言葉のほかに出席者からのご意見や感想なりを求める時間のゆとりがありました。本当は11～12本くらいが上映本数としては適切ですが、時には14～15本以上の出品があり、あわただしい司会となり、うれしい悲鳴ではありますが、せつかく苦勞して作られた作品なのに、上映するだけですよ、というのは勿体ない話しではあります。もっともその作品の講評は、こうしたOMCニュースの例会レポートに一作一作の講評が担当書記の手によって書かれているので、例会時の時間の少なさを補っているともいえます。書記担当者は、例会上映時に江村氏がミニDVテープに録画したものを持ち帰って、その映像を再び拝見しながら、ゆったりとした時間の中で講評を書いています。書記担当者には大変ご苦勞をおかけしています。

前置きが長くなりましたが、今月の司会には有村氏、書記、合原氏、上映担当、井上、河合の両氏、録画担当、江村氏、掲示担当紙本氏、受付兼照明係、宮崎、森口(森下

氏欠席のため代行)の各氏の担当で進行しました。

■出席者：有村、井上、上田、江村、岡本、紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、高瀬、華岡、錦、前田、宮崎、森口、森田、山本、吉村、渡辺の21氏と作品11本でした。

上映作品(今月の講評は合原会長です)

1. おわら風の盆 (BD)

江村一郎 7分30秒

今までの江村作品とはひと味違った作品です。三木たかし作曲、石川さゆりの唄をバックに、バスの中からの流れる夕景と、おわら風の盆の提灯や踊りの情景がかぶってきて、富山の現地での夜の踊りが幻想的雰囲気描かれています。風の盆恋歌のメロディーも唄も哀愁を帯びていてマッチしていました。単なる歌謡映画にしないところに作者の非凡な絵づくりの才能が伺えます。バスの中から車窓を眺める憂いに満ちた女性の主人公でもあったら、また別の映像詩的な作品になったかもしれませんが、所詮無理な話でしょうね。

2. 天体ショーに挑戦 (BD)

有村 博 4分27秒

平成26年10月8日午後6時から凡そ3時間半に及ぶ皆既月食の様子を果敢に取り組んで撮影された、そのご努力、ご熱心さにまずは脱帽です。伺うと6時に公園に行ったら蚊に食われ、これはたまらんと家に帰り物干場に蚊取線香を炊いて撮影を始めたが、デジタルズームで120倍で画面一杯に撮られているので、少し足を動かすと画面がぶれてしまう、ということで途中1時間の暗闇で食事休憩以外はカメラに付き切りで撮影されています。月は刻々と位置が変わるので追いかけるのも大変だったろうなとそのご苦労ぶるが伺えます。

先月発表された上田氏は、デジタルカメラのソニーHX60で撮影されたとありますが、オートで撮ると露出オーバーになるので、相当絞らないと月面の模様が出ないとのことでしたが、デジタルズーム120倍では、絞っても月面の模様が判るほどの解像度は出ないかも知れませんね。この場合、真白い月の月食の様子だけでも雰囲気は充分伝わってきました。ご苦労様でした。

3. コスモス (BD)

進藤信男 5分55秒

こういう題名ならどこで撮ってもコスモスはコスモスでしょうが、この作品は兵庫県丹波市氷上町清住という土地で、毎年休耕田を利用して7haの田んぼにコスモスを植えて町おこしの一環としているコスモス畠を中心に、寺などのコスモスを混じえて作品にされています。テーマがコスモスなので、これをどうまとめて作品にするか、単純な素材だけにかえって難しい題材です。「秋の清住散策」とでも題名を替えて、もう少しお寺さんとか周りの田園風景とか民家の軒先に干された吊し柿とか幅広く描いた作品にされるのも一つのテだと思いますが如何でしょうか。

4. えじゃないか2014 (BD)

上田吉巳 9分56秒

タイトルに「2014 泉州よさこい、第11回えじゃないか祭り」とありましたので、毎年恒例の祭りのようです。よさこい、と言えば江村さんの本場もののよさこい祭りの映像は一寸マネの出来ない独特の映像作品ですが、上田さんの泉州よさこいは臨海地区のあちこちで展開されているようで、撮影も3ヶ所以上で撮られています。最後のメイン会場での総踊りは圧巻でした。中間の観客席の上段から俯瞰撮影の場所での踊りの場面は少し長すぎて変化も少ないので半分位に短くしてはどうでしょうか。

それにしても若い人達のあのエネルギーのあるパワーには驚かされます。後期高齢者の私共には「夢のまた夢ですね」

5. 若桜SL&まつり (BD)

紙本 勝 11分40秒

紙本作品はいつも安心して楽しく拝見させて頂いています。今回は鳥取県八頭郡若桜町へ、因美線の郡家駅で若桜線に乗り換え終点若桜駅で下車、その駅構内には月2回公開されているSL、C12型の動く様子が見られます。家族連れが運転席に乗ったり手動の転車台を動かしたり楽しそうです。町へ出ると2年に1度の祭りが行われていて、人口3000人の町がこの日ばかりは大賑わいです。江戸時代の行列風景や若桜神社での神事、巫女の踊りがありますが、神事の前後に御幟行列が出るので、行列の前に神事をもってきた方が自然ではないかと思えます。それにしても、地方の小さな町で、こんなに大規模な祭りができる等祭

りの持つ伝統行事のすごさを感じます。

6. 京の隠れ里・水尾の山水 (BD)

森口吉正 8分10秒

久しぶりに森口さんらしい名水をテーマにした作品です。京の隠れ里と云われる水尾の里は、愛宕参道奥嵯峨鳥居本から車で JR 保津峡駅を経て、更に奥地へ進んだ山奥にありました。そこは神の里として知る人ぞ知るの地です。作者はそこから歩いて山頂へ登られると山頂に、清和天皇水尾山稜がありました。ナレーションで「ここは静寂の世界です」と語っておられるのに BGM が邪魔して画面から静寂感が出てきません。ここは BGM なしで遠くに鳥の声ぐらゐの効果音ですませた方がよいと思います。その後の山水のしたたり落ちるところはよく水滴の音が活かされていました。

7. テヘラン (BD)

華岡 汪 9分09秒

このところよく海外に行かれ、この作品など今年5月にイランにツアーで行ったときの記録だそうです。華岡さんは人があまり行かない東欧などを旅されるので珍しい映像を見せて頂くのが楽しみでもあります。さて今回はイランの首都テヘランが主題なので、さぞ緊迫化した街の状況かと思いきや、街中はいたって平和で落ちついて生活しているという話でした。今回の作品は博物館めぐりでしたが、街中の人々や何かイランならではの情景を描いた作品を拝見したいものだが、このイランシリーズ、今後も続くそうなので期待しましょう。

8. 4K有馬の紅葉2014 (BD)

井上勝彦 7分37秒

4K 3Dカメラで撮影された瑞宝寺公園の紅葉風景です。正直申し上げて、これは4Kですよ、と言われなければ、皆さん一般の HDV 映像とたいした違いは感じられませんでした。それにしてもあれこれ工夫して 360 度撮影や移動撮影装置の自作など、最先端の技術に挑戦しておられる事に敬意を評します。この作品4Kテレビで映したらもっときれいに見えることでしょう。例会設備はまだ4Kにはほど遠いものです。

9. 緑島(みどりじま)を訪ねて (BD)

山本正夢 10分10秒

台湾の台東富岡港から船で1時間ほど行

った離れ島、緑島です。この3月に行ってこられたそうだが、観光地でもないのに日本人がこの緑島を訪れるなど珍しいのかも知れません。島には世界で4ヶ所しかないといわれる珊瑚礁から湧き出る温泉がありましたが、誰も入浴していませんでした。次に 1947.2.28 国民党と本省人の対立があり国民党は親共分子として武力で徹底的に弾圧、多くの台湾知識人を投獄、監禁そして殺害したといわれる収容所の跡を見てこられました。ここにも暗い歴史遺産があったのです。山本さんはこういう人の行かないところへ行って撮影してこられるので毎回楽しみです。しかしその活動力には脱帽の外ありません。

10. 八瀬赦免地踊 (BD)

高瀬辰雄 13分10秒

やせ・しゃめんちおどり、と呼ぶ、一種のお祭りの記録で今年10月に撮影されたとのこと。何とも珍しい祭りです。頭に中学生の男の子が被るちょうちん作りの様子から、夜、家で男の子が女装するところから暗い夜道をちょうちんの灯りだけが進んでいく様子は幻想的ですが、ライティング出来なかったのが残念。念仏歌のような声も雰囲気にもマッチしていました。ただ小学校の講堂で学芸会のように子供たちが踊る様子は、少し現実過ぎて興醒めの感がありました。300年の伝統ある祭りということでこれからも続いていくことでしょうが、何かひと工夫して幻想的な作品が出来ないものか、考えさせられる作品でした。

11. ちょっと北条鉄道へ (BD)

前田茂夫 10分35秒

この作品は3つの要素から構成されています。北条鉄道の法華口駅のボランティア駅長さんの話し、法華山一乗寺の紹介、そして標高244mの笠松山に苦労して上る様子の3ヶ所で、作品の主題がぴしっと決まっていらないように思いました。しかしビルなら75階建にもなる高さをくさりを使って登られる元気さは大変なものですが、どうか無理をなさいませんように。ボランティア駅長さんの手を振って列車を見送る姿は印象的です。この駅長さんのことを掘り下げたいものですね。